

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年7月8日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日	備考
1	<p>【一時保管エリアP排水樹における全ベータ値の一時的な上昇について】 協力企業作業員が、一時保管エリアP排水樹の放射能濃度分析結果(6月29日採取分)において、全ベータの値が前回(5月21日採取分)と比較して、上昇していることを確認。 7月5日採取分では通常の変動範囲内に戻っていることを確認。 原因調査のため、一時保管エリアP周辺の放射能濃度分析を行ったところ、一時保管エリアP南側排水溝と陳場沢川東側流入地点(上流)の全ベータ値が高いことを確認。 応急処置として、一時保管エリアP南側排水溝と陳場沢川東側流入地点(上流)の排水溝の清掃を行うとともにゼオライト土壌を設置。 今後、さらなる原因調査を実施し、再発防止対策を検討する。</p>	G I	7月5日	<p>2021年8月10日の再審議にて、グレードをGⅡ→GⅠへ変更。 【理由】 原因調査の結果、放射性物質を含む雨水の一部が陳場沢川へ流出した可能性は否定出来ないと判断したため。</p>
2	<p>【6号機非常用電気品室と6号機非常用ディーゼル発電機(A)間の水密扉の不具合について】 当直員が、6号機非常用電気品室と6号機非常用ディーゼル発電機(A)間の水密扉のハンドルを「閉」方向に回しても、施錠出来ないことを確認。 調査したところ、スペーサー(※)が外れていたことより、スペーサー取り付け不備によりハンドル軸ギヤと施錠用ギヤがかみ合わなかったものと推定。 外れていたスペーサーを設置し復旧済み。 今後、原因を深掘りし、再発防止対策を検討予定。 ※スペーサー: 間隔をあけて2部品を結合するときに挟む小片または薄片。</p>	GⅢ	7月2日	
3	<p>【5号機計装用空気系除湿装置(A)の手順書の不備について】 当直員が、5号機計装用空気系除湿装置(A)の運転確認のため電源を復旧したところ、警報「昇圧不良」の発生を確認。 プログラムを確認したところ、前回発生した「昇圧不良」の信号が残ったままであることを確認。 プログラム内の「昇圧不良」信号を解除する手順が手順書にないことを確認。 プログラム内の「昇圧不良」信号を解除する手順を作成し、当該信号を解除後、除湿装置(A)が正常に運転することを確認。 今後、再発防止対策を検討予定。</p>	X	7月2日	<p>2021.7.28の再審議にてグレード変更 GⅢ→X 以下の理由よりグレードを変更。 ・復旧方法が、通常使用している手順書には記載がなく、特殊な復旧手順が必要だったこと。 ・設備の不具合ではないこと。</p>
4	<p>【1号機原子炉格納容器ガス管理設備(B)の不具合について】 当直員が、1号機原子炉格納容器ガス管理設備(B)が正常な数値を指示していないことを確認し、監視できない状態と判断。 原子炉格納容器ガス管理設備(A)については、正常に動作しており、指示値に異常はなく、プラントデータ監視に支障なし。 原子炉格納容器ガス管理設備(B)の調査の結果、核種分析装置検出器が故障していることを確認したことから、当該検出器の交換を実施。 その後、原子炉格納容器ガス管理設備(B)を起動し、指示値に異常がないことから、監視可能な状態に復帰したものと判断。</p>	GⅢ	7月4日	